

今年の年頭所感はねりま健育会病院から発信しました。

医療法人社団 健育会 理事長 竹川 節男



2020（令和2）年の健育会グループの仕事始めは、例年通り1月4日（土）。令和最初の年頭所感は、開院3年目を迎えるねりま健育会病院から、テレビ会議システムを通じて、グループ内の全病院・施設に向けて発信しました。

当日は、仕事始めにふさわしい青空の下、年頭所感の発信に先立って、ねりま健育会病院の酒向正春院長やマネージングディレクター達と近隣の神社を参拝。同院をはじめ健育会グループ全病院・施設の業務の安全や職員の成長、医療を通じた地域への貢献などを祈願しました。その後、同院に移動し、酒向院長の案内で院内の視察も行いました。



年頭所感の発信では、昨年最後の理事長トークvol.210の内容に加えて、下記の話をしました。

皆さんのおかげで、健育会グループ単体の3月期決算は、V字回復することが確実にになりました。安定した経営基盤を確立することができ、昨年よりは少し余裕を持って経営に取り組むことができます。今年は経営体質を更に磐石にし、来年のグループの拡大につなげたいと思います。既に銀行から新しい病院のM&Aの話も提案されていますが、まだその段階ではありません。しかし、グループを拡大させることは、健育会の使命を果たす手段の1つ。その実現に向けて、今年も頑張っていきます。



昨年12月27日の仕事納めでは、健育会グループ幹部や各病院・施設の幹部職員に向けて、年末あいさつをしました。その内容も下記に掲載します。

今年5月1日に元号が変わり、世の中の「気配」にも変化が生じている気がします。

来年からは、約200年ぶりに「地」の時代から「風」の時代になると言われています。200年前というと産業革命が起こり、モノを所有する時代が始まりました。しかし、現在はIT革命によってシェアリングエコノミーが広がり、モノを持つよりも目に見えないもの、つまり人の気遣いや思いやりの気持ちが価値を持つ時代に私たちはいます。

サービス業である私たちの仕事は、そのことを常に意識していかなければなりません。病院のサイズや医療機器がどれだけそろっているかということよりも、人の気遣いや思いやりの気持ちを職員全員が持っている病院が、評価される時代が来ています。

昨年末に皆さんにお願いしたいいくつかのことを、今年1年よく改善してくれたと思います。ディレクターの目線について「ESなくしてCSなし」と私は言いましたが、だいぶ改善されてきていると思います。財政状況はV字回復し、健育会単体でも黒字決算は確実に見えてきました。これにより、来年からは安定した運営が可能になり、余裕をもって経営ができることとなります。最後に、皆さんの今年1年の頑張りに本当に感謝します。来年もよろしく願いいたします。

本年は、ねりま健育会病院をスタートとして、1月15日までグループ内の各病院・施設を巡り、それぞれの職員に向けた講話を行いました。その内容も下記で紹介します。

振り返ってみると、茅ヶ崎セントラルクリニックは、健育会グループに入ってからだいぶ変わってきたと感じています。皆さんよく勉強するようになり、学会発表も行うようになりました。

しかし、今年度残念なことは、予算に対して患者数がいつも1~2名足りないことです。患者数と利益という両輪が共に達成してこそ、はじめて安定した運営ができることとなります。今年度は残り3カ月ですが、患者数が達成できるように頑張ってください。



ライフケアガーデン湘南は、残念ながら厳しい状況が続いています。しかし、入居された方からのご意見を聞くと、評判はとても良いです。

今年の目標は、あと10名の入居。それをいつまでにどういう戦略で達成させるかということ、皆さん全員で考えて実行してください。そして来年の今頃には、目標が達成できたといえるようになってほしいと思います。



昨年1年間、湘南慶育病院は、本当によく頑張ってくれました。皆さんのおかげで、健育会の今年3月の決算では、V字回復が果たせる見込みです。湘南慶育病院には大きな投資をしているので単体ではなかなかすぐには黒字になりませんが、再来年には湘南慶育病院単体で黒字を達成してほしいと思います。

来年も知恵を絞って「急性期をどうやって回すか」「救急をどうやって増やすか」といったことを考え、病床稼働率95%を維持しながら、内容を高められるように頑張ってください。



石川島記念病院は再開してまだ間もないので、病院理念をまだ確立できていない状況です。まずは皆さんで、石川島記念病院をどういう病院にしたいか、どういう病院が理想なのかということをお話し合っておいて病院理念を作りたいと思います。そして、それを全員で共有し、同じ絵を見られるようになってください。

皆さんのおかげで、病床は満床になりました。これからは内容を充実させ、外来も増やしていきます。今年は、病院理念を作り共有することと並行して、取り組んでほしいと思います。



1月7日 (火)

竹川病院・ケアセンターけやき - 東京 -

昨年度、竹川病院は最高益を更新しました。今年度は少し低迷していますが、まだ3カ月残っています。ぜひ取り返してほしいと思います。竹川病院には、健育会グループ全体の先頭に立って、グループをけん引してほしいと思います。



1月7日 (火)

ライフサポートひなた - 東京 -

ライフサポートひなたは、まだOne Teamになれていないと感じています。50床の規模の老健で黒字を出すことは、大変難しいことだと思います。今年は、皆さんでOne Teamになって、ぜひ黒字に向けて頑張ってください。



1月7日（火）

ケアポート板橋 — 東京 —

ケアポート板橋は、世間から注目されており、講演や執筆を数多く依頼されています。これは皆さんが本当に頑張っている証であり、私も誇りに感じています。今年も引き続き、皆さんがOne Teamとなり、その誇りにますます磨きをかけてほしいと思います。



1月8日（水）

西伊豆健育会病院 — 静岡 —

西伊豆健育会病院は、昨年は大変なこともありましたが、よく乗り越えて頑張ってくれました。今年もOne Teamで頑張してほしいと思います。



1月8日（水）

熱川温泉病院・ライフケアガーデン熱川 - 静岡 -

熱川温泉病院は、54年前の開院時と比べて環境が大きく変わりました。開院当時、リハビリテーションといえば温泉病院であり、熱川をはじめ月ヶ瀬、石和、鹿教湯などにリハビリテーションのできる病院がありました。ところが今は、東京にも多くの回復期リハビリテーション病院があります。そうした中で、わざわざ熱川までリハビリテーションに来ていただく患者さんには、東京のリハビリテーション病院に負けないリハビリを提供するだけでなく、優しさや気配りを提供することが必要です。

今年もOne Teamで、この熱川温泉病院がいつまでも続くように、頑張ってもらいたいと思います。



1月9日（木）

いわき湯本病院 - 福島 -

いわき湯本病院は、病床規模が大きくないため、少し収入が下がると利益も落ちることになります。なんとか患者数が戻ってきたので、今年の予算も達成できていると思っています。今後は競合相手も出てきます。その中で勝ち抜くためには、心の豊かさや気配りが必要です。建物は決して新しくはありませんが、それを乗り越え、皆さんの気配りと優しさで頑張ってもらいたいと思います。



花川病院は、毎年さまざまな整備をしている関係から、少しずつ利益が減っています。昨年も労働環境の整備を行いました。しかし、この収益減を補うために、療養病棟を回復期病棟に転換させて、皆さんが頑張っていることを本当にうれしく思っています。ここで踏ん張って、また収益が増えていくように皆さんOne Teamで、頑張ってもらいたいと思います。



上記の病院・施設に加えて、15日に石巻健育会病院・ひまわり在宅サポートグループとしおんを訪問しました。なお、8日に行く予定だったしおさいは、インフルエンザ流行のため、今年は見送っています。

今年は昨年よりも良い新年を迎えることができ、改めて皆さんの1年間の頑張りに感謝します。今年の健育会のスローガンは「We are One Team!」。各病院・施設だけでなく、健育会グループ全体がOne Teamとなってビジョン達成を目指しましょう。来年は、今年以上に良い新年を迎えられるよう、1年間よろしくお願ひします。